

2009年12月22日

北海道電力株式会社  
取締役社長 佐藤佳孝

### 泊発電所3号機の営業運転開始について

本日、泊発電所3号機は、経済産業省による最終の使用前検査に合格し、営業運転を開始いたしました。

この日を迎えることができましたのも、ひとえに地元をはじめ道民の皆様のご理解とご協力、ならびに国、北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村をはじめとする関係者の皆様のご指導とご尽力の賜物と、心より感謝申し上げます。

原子力発電は、燃料の供給安定性に優れているなどエネルギーセキュリティ確保の観点から、また、低炭素社会の実現に向けた切り札としても、引き続き重要な役割を担っております。

泊発電所3号機の営業運転開始により、当社の電源構成は、水力、石炭火力、石油火力、原子力がそれぞれ4分の1から5分の1程度と、特定の電源に偏ることなく燃料情勢の変化に対しより柔軟に対応できるものとなります。

また、発電電力量に占める原子力発電の割合は約4割となる見通しであり、当社のCO<sub>2</sub>排出量を3号機導入前と比べ2割から3割程度抑制することが可能となります。

今後とも、1、2号機とともに、安全確保に万全を期し、皆様により一層信頼される発電所となるよう全力を尽くしてまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上